



大どろぼうホツェンプロッツ

オトフリート＝プロイスラー 作

F = J = トリップ 画

中村浩三 訳

偕成社 1990年(初版1966年) 900円



ある日、カスパールのおばあさんが大切にしている新式のコーヒーひきが盗られました。盗んだのは、黒ひげにかぎ鼻、腰には7本の短刀にコショウピストルを持つ、世にも恐ろしい大泥棒ホツェンプロッツでした。カスパールと友達ゼッペルは、この大泥棒を追いかけますが、逆に捕まってしまう。しかもカスパールは大魔法使いツワッケルマンに売り飛ばされてしまい…。ツワッケルマンによって囚われの身となった妖精アマリスも登場し、息もつかせぬ大冒険を味わうことができます。

シリーズには、警官に変装して脱走したホツェンプロッツを捕まえるために、カスパールとゼッペルが奮闘する「ホツェンプロッツふたたびあらわる」と、泥棒をやめる決心をしたホツェンプロッツを守るため2人が活躍する「ホツェンプロッツ三たびあらわる」があります。



がんばれヘンリーくん

ベバリイ＝クリアリー 作

ルイス＝ダーリング 絵

松岡享子 訳

学習研究社 1969年 900円



ヘンリーくんは小学校3年生の男の子です。ある日、ドラッグストアでやせこけてノミのいる雑種の犬を拾います。やせてアバラ骨がみえるから「アバラ」と名付けた犬を、家に連れて帰るためにバスに乗せようとして大騒動になる「ヘンリーとアバラ」、ペットショップで買ったつがいのグッピーがどんどんふえる「百万びきのグッピー」、なくしたボールを弁償するために、ミミズを1331匹捕まえる「ヘンリーと夜のお客さま」など、ヘンリーくんの毎日がいきいきと描かれています。

「ゆかいなヘンリーくん」シリーズは「ヘンリーくんとビーザス」など全9冊あり、ヘンリーくんや友だちのビーザス、ビーザスのやんちゃな妹ラモーナなどが活躍します。1950年にアメリカで出版されてから半世紀以上も子どもたちに愛されているシリーズです。ラモーナを主人公にした「ラモーナ、明日へ」などラモーナの物語も5冊出版されています。



長くつ下のピッピー世界一つよい女の子ー

リンドグレーン 作

桜井誠 絵

大塚勇三 訳

岩波書店 1964年 1700円



9歳のピッピ・ナガツシタは、馬をまるごと持ち上げられるくらい力持ちの、世界一つよい女の子です。2本のおさげはニンジンそっくりの色で、そばかすだらけの顔に、かたっぽは茶色、もうかたっぽは黒の長靴下をはいています。学校にも行かず、1人でサルの子ルソン氏と1頭の馬といっしょにごたごた荘で暮らしています。隣に住むトミーとアンニカというきょうだいとなかよしで、毎日3人で遊びます。ピッピは孤児院に入れようとやってきたおまわりさんと鬼ごっこをしたり、サーカスに飛び入りしたり、次から次へとゆかいな出来事をまきおこします。型破りで陽気なピッピは世界中の子どもたちに愛されています。

シリーズには、行方不明の父親エフライム船長と再会する「ピッピ船にのる」と、トミーとアンニカといっしょに南太平洋の島へ行く「ピッピ南の島へ」があります。



ぼくは王さま

寺村輝夫 作
和田誠 絵

理論社 2000年（初版1961年） 1200円

たまごが大好きで、言いだしたら聞かないわがままな王さまの楽しいお話です。赤ちゃんが生まれたお祝いに、大好きなたまごやきを国じゅうの人にごちそうしようと、王さまがぞうのたまごをさがさせる大騒動「ぞうのたまごのたまごやき」、遊ぶのが大好きな王さまが、しゃぼんだまでくびかざりを作ろうと、不思議な子どもからもらったしゃぼんだまの種をまく「しゃぼんだまのくびかざり」、ほかに「ウソとホントの宝石ばこ」「サーカスにはいった王さま」の4つのお話が入っています。

シリーズは「王さまばんざい」「王さま口ポット」などがあります。「ぞうのたまごのたまごやき」「おしゃべりなたまごやき」（いずれも福音館書店刊）は長新太画で絵本になっています。



アンデルセン童話集 1

アンデルセン〔作〕

初山滋 さし絵

大畑末吉 訳

岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1986年)
680円



花から生まれた、おやゆびほどの小さなかわいらしい女の子のお話「おやゆび姫」や、ほかのひなより大きくてみにくいアヒルの子が、実は美しい白鳥だった「みにくいアヒルの子」など、世界中で親しまれているアンデルセンの代表的な童話11編がおさめられています。シリーズは全3巻です。



イソップのお話

河野与一 編訳

稗田一穂 さし絵

岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1955年)
720円

北風と太陽のどちらが旅人の着物を脱がせることができるか勝負する「北風と太陽」、足の遅いカメと、それをばかにしたウサギが競争する「ウサギとカメ」など、有名な寓話集の中から、選りすぐられた300編がおさめられています。原典ギリシア語からの完訳版です。



いたずらおばあさん

高樓方子 作

千葉史子 絵

フレーベル館 1995年 1100円

エラババ先生は84歳のえらい洋服研究家です。弟子のヒョコルさんは68歳です。ふたりのおばあさんは、先生の発明した「わかくなる服」を着て、8歳の女の子に変身します。意地悪なおばさん達をだまして、広場にある立入禁止のぶたの彫刻に座らせてはじをかかせたり、大人をあっと言わせるいろんな楽しいいたずらをします。

おうさまのたけうま

ドクター＝スース 作

つかさおさむ 絵

みつよしなつや 訳

学習研究社 1968年 825円



ビンの国は、まわりを海に囲まれ、木の堤防で守られています。王さまは、堤防を食い荒らす鳥ニザードを退治するため、ねこのパトロール隊を従えて毎日大忙しです。そんな王さまのたったひとつの楽しみは竹うまに乗ることでしたが、悪い大臣が竹うまを隠してしまいます。おつきの少年エリックは、竹うまを取り戻そうと大臣に立ち向かいます。

大きな森の小さな家

ローラ・インガルス・ワイルダー 作

ガス・ウィリアムズ 画

恩地三保子 訳

福音館書店 1972年 1600円



5歳の女の子ローラは、とうさん、かあさん、姉さんと妹といっしょに、大きな森の小さな丸太の家に住んでいます。バターやハム、野菜などすべてのものが手作りです。ローラと姉さんのメアリイはできるだけお手伝いをします。厳しい自然の中での開拓者一家の生活が、ローラの目を通していきいきと描かれています。「インガルス一家の物語」シリーズは「大草原の小さな家」など全5冊です。



オンネリとアンネリのおうち

マリヤッタ・クレンニエミ 作

マイヤ・カルマ 絵

渡部翠 訳

プチグラパブリッシング 2005年(初版1972年大日本図書) 1800円



小学校1年生のオンネリとアンネリは大のなかよしです。ある日、2人は道で封筒を拾います。封筒を正直に届けて大金を手にしたオンネリとアンネリは、不思議なバラの木夫人からおうちを買います。おうちには、コートが2着、かわいい人形も2つ、インコが2羽と、小さな2人の女の子専用の素敵なものがたくさんありました。夢のようなおうちで2人だけの暮らしが始まります。





**風のまにまに号の旅—あなぐまビルのぼうけん1—
‘BB’ 作**

D. J. ワトキンス=ピッチフォード 絵
神鳥統夫 訳
大日本図書（てのり文庫）

1988年（初版1983年）485円



森の小さな家でひとりぼっちでさびしく暮らしているあなぐまビルに、ある日、友だちのはたねずみのマティが「風のまにまに号」という船をプレゼントしてくれます。冒険の旅に出発したビルは、はりねずみのイジーといっしょに、積荷の大金をねらう海賊ねこの一味と勇敢に戦います。「あなぐまビルのぼうけん」シリーズは「船のクリスマス」など全6冊です。



きつねものがたり

ヨセフ・ラダ 作・絵
内田莉沙子 訳

福音館書店 1966年 1500円

森番の家で育てられ、人間の言葉を覚えたとてもかっこいいきつねくんは、ある日自由を求めて家を出て行きます。昔話のかっこいいきつねのまねをして、なんとかえさにありつこうとしますが、うまくいきません。そこで、電話で肉屋をだまし、まんまとハムを手に入れて、すっかり町の有名人になります。得意になったきつねくんは、今度は森番になろうとはりきるのですが…。



キャプテンはつらいぜ

後藤竜二 作
杉浦範茂 絵

講談社 2006年〔初版1979年〕1300円

少年野球チーム、ブラック=キャットはいつも試合に負けてばかりです。主力メンバーが辞めていき、とうとうチーム存続の危機に陥ります。キャプテンにされた男はチームを立て直すため、問題児の秀治をピッチャーに迎えようと考えます。「キャプテン」シリーズは「キャプテン、らくにいこうぜ」「キャプテンがんばる」があります。



霧のむこうのふしぎな町

柏葉幸子 作
杉田比呂美 絵

講談社 2006年 1300円



父親にすすめられ、リナは小学校最後の夏休みを「霧の谷」で過ごすことになりました。けれど、下宿屋のピコットばあさんは歓迎するどころか、リナに働けと言うのです。リナは、めちゃくちゃ通りにある本屋、せともの屋、おもちゃ屋で働くうちに、魔法使いの子孫だという風変わりな住人たちと親しくなっています。

*新装版です(初版 竹川功三郎絵 1975年)。



くしゃみくしゃみ天のめぐみ

松岡享子 作
寺島龍一 画

福音館書店 1968年 1500円

どえらいいびきかきのかん太が、雷様にみこまれて天にのぼる「かん太さまのいびき」など、くしゃみ、しゃっくり、いびき、おなら、あくびをテーマにした、日本の昔話風の創作物語が5つ入っています。どのお話も明るくユーモラスです。



くまのパディントン

マイケル・ボンド 作
ペギー・フォートナム 画

松岡享子 訳
福音館書店 1967年 1200円



ブラウン夫妻は、パディントン駅でクマをみつけます。パディントンと名付けられた礼儀正しく無邪気なクマは、おふろで溺れそうになったり、駅のエスカレーターを止めたりと、行く先々で大騒動を巻き起こします。シリーズは「パディントンのクリスマス」「パディントンとテレビ」など全7冊です。



車のいろは空のいろ 白いぼうし

あまんきみこ 作
北田卓史 絵

ポプラ社 2000年(初版1968年) 1000円

松井さんは空いろのタクシーの運転手です。初めて車に乗ったとはしゃぐ小さな兄弟が、実はきつねだった「小さなお客さん」など、松井さんとちょっと不思議なお客さんたちのお話が、8つ入っています。シリーズには「春のお客さん」「星のタクシー」があります。

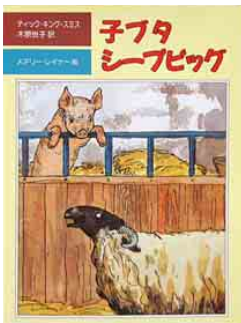


グレイ・ラビットのおはなし

アリソン・アトリー 作
フェイス・ジェイクス さし絵
石井桃子、中川李枝子 訳

岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1995年)
640円

グレイ・ラビットは、働き者で気だての良い小さな灰色ウサギです。グレイ・ラビットが、友だちの野ウサギのヘア、リスのスキレルを助けるためにイタチをやっつける話など、森の生き物たちが、自然の中でくり広げる冒険を描いたお話が4つ入っています。



子ブタ シープピッグ

ディック・キング＝スミス 作
メアリー・レイナー 絵
木原悦子 訳

評論社 1991年 1200円

ホギットさん夫婦の農場にやってきた子ブタのベイブは、シープドッグであるコリー犬のフライを母親代わりに育ちます。前代未聞の有能なシープピッグとなったベイブを、ホギットさんはシープドッグ・チャンピオン大会に参加させようとしますが…。





三月ひなのつき

石井桃子 作
朝倉 撰 絵

福音館書店 1963年 1400円

10才のよし子は、自分のおひな様を持っていません。おかあさんが、空襲で焼けてしまった自分のおひな様と同じくらい、心のこもったすてきなおひな様でなければと、なかなか買ってくれないのです。泣いてお願いするほどおひな様のほしいよし子でしたが、おかあさんの気持ちもよくわかって…。



しずく的首飾り

ジョン・エイキン 作
ヤン・ピアンコフスキー 絵

猪熊葉子 訳
岩波書店 1975年 2200円



ローラは名付け親の北風から、水に浮いたり、雨を降らせたりといろいろなことができるしずく的首飾りをもらいます。不思議な首飾りをめぐる冒険「しずく的首飾り」、他に「空のかけらをいれてやいたパイ」「魔法のかけぶとん」など、奇想天外で愉快なお話が8つ入っています。



ジム・ボタンの機関車大旅行

ミヒャエル・エンデ 作
ラインハルト・ミヒル さし絵

上田真而子 訳
岩波書店 1986年 1800円



小さな島国フクラム国に小包で届いた赤ん坊は、ジム・ボタンと名付けられました。成長したジムは、機関士ルーカス、機関車エマとともに冒険の旅へ出ます。マングラ国へ着いたジムたちは、さらわれたリーシー姫を助けに行きますが…。「ジム・ボタンの冒険」シリーズは「ジム・ボタンと13人の海賊」があります。



少年探偵ブラウン(1)

ドナルド＝ソボル 作

桜井誠 さし絵

花輪莞爾 訳

偕成社(偕成社文庫) 1977年 700円

ロイ・ブラウンは、百科事典と呼ばれるほど頭のいい少年です。警察署長のお父さんは、事件でわからないことはロイに聞くので、この町に未解決の事件はありません。ある日、ロイは探偵の仕事を始めました。日常の謎から強盗まで15の事件を、ロイのみごとな推理が解決します。それぞれの事件には「もんだい」がついており、いっしょに推理を楽しむことができます。シリーズは全5巻です。



すえっこOちゃん

エディス＝ウンネルスタッド 作

ルイス＝スロボドキン 画

下村隆一、石井桃子 訳

フェリシモ 2003年(初版1971年 学習研究社)
1238円



スウェーデンに住む5才の女の子Oちゃんは、7人きょうだいの末っ子です。猫を乳母車に乗せて町に行き大騒動になったり、でたらめに電話をかけて2匹の子犬をもらったり…。Oちゃんと家族の楽しい毎日のお話です。



セロひきのゴーシュ

宮沢賢治 作

茂田井武 画

福音館書店 1966年 1100円



田舎の畑の中の小さな家に住むセロ(チェロ)弾きのゴーシュは、楽団長に叱られてばかりいました。ある晩、三毛ネコがやってきてチェロを弾いてくれるよう頼みます。それから毎晩、カッコウや子ネズミ、たぬきなど、いろいろな動物たちの頼みでチェロを弾いているうちに、ゴーシュはみんなが聞き入るようなチェロの弾き手になっていました。



大造じいさんとガン

椋鳩十 著
武部本一郎 さし絵

偕成社（偕成社文庫） 1978年 700円

狩人の大造じいさんは、様々な罟をしかけてガンを捕ろうとしますが、頭の良いガンの頭領残雪のおかげでうまくいきません。大造じいさんと残雪の知恵比べと交流を描く「大造じいさんとガン」、他に「屋根うらのネコ」「アルプスの猛犬」など、人間と動物の関わりを描いた13の話が入っています。



龍の子太郎

松谷みよ子 著
田代三善 絵

講談社 2006年（初版1960年）1400円

龍になったおかあさんを探して、龍の子太郎は北の湖へ旅に出ます。天狗にももらった百人力の力で鬼を退治し、笛の上手な女の子あやとともに、みんなが豊かに暮らせる土地を作ろうとします。日本の昔話をベースにした雄大な冒険物語です。

*新装版です（初版 久米宏一絵 1960年）。



小さい魔女

オトフリート＝プロイスラー 作
ウィニー＝ガイラー 画
大塚勇三 訳
学習研究社 1965年 900円



たったの127才で、年に1度の魔女の集まり、ワルプルギスの夜に出られない小さな魔女は、いい魔女になっていれば来年は出てよいと魔女のおかしらから言われました。そこで小さい魔女は、相棒のカロスのアブラクサスに励まされながら、魔法を使って人助けをしたり、いいことばかりをしましたけど…。



小さなスプーンおばさん

アルフ＝プリーヨイセン 作
ビョールン＝ベルイ 画
大塚勇三 訳
学習研究社 1966年 900円



突然、ティースプーンくらいに小さくなったり、もとに戻ったりするスプーンおばさんが、次々とゆかいな出来事をまきおこします。カラスの女王様になったり、バザーに寄付するお人形になったり…。シリーズには「スプーンおばさんのぼうけん」「スプーンおばさんのゆかいな旅」があります。



ちびっこカムのぼうけん

神沢利子 作
山田三郎 絵
理論社 1999年 (初版1961年) 1200円

北の国に住むカムは、とびきり元気な男の子です。カムは、お母さんの病気を治すイノチノクサを求めて、火の山の大男ガムリイとたたかいます。三日月に飛び乗って、北斗七星の大ヒシヤクを傾けるなど、スケールの大きな冒険物語です。



チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール 著
クエンティン・ブレイク 絵
柳瀬尚紀 訳
評論社 2005年 1200円



チャーリーの住む町には、世界一広大で謎に満ちた、ワンカ氏のチョコレート工場があります。板チョコに入ったくじをひき当てた5人の子どもが、工場見学に招待されることになりました。運よく当たったチャーリーを待ち受けていたのは、次々と起こる奇想天外な出来事でした。続編には「ガラスの大エレベーター」があります。

* ジョセフ・シンデルマン絵、田村隆一訳で1972年にも出版されています。



ドリトル先生航海記

ヒュー・ロフティング 作・さし絵
井伏鱒二 訳



岩波書店 1978年(初版1961年) 1800円

「沼のほとりのパドルビー」に住むドリトル先生は、世界でただ1人動物と話すことができるお医者さんです。10才のトミー・スタビズは、ケガをしたリスを治してもらったことで、先生となかよくなります。トミーと動物たちと航海に出たドリトル先生は、漂流島の王様になったり、巨大な海力タツムリにのって海の底を旅したり、大冒険をくり広げます。シリーズは「ドリトル先生アフリカゆき」など全12冊です。



長い長いお医者さんの話

カレル・チャペック 作
ヨセフ・チャペック さし絵

中野好夫 訳

岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1952年)
720円



ウメの種をのどにつまらせた魔法使いのもとに、4人の医者が診察にやってきます。魔法使いをからかうためにすぐに治療せず、自分たちが出会った妖精やカッパなど、ふうがわりな病人たちについて語る「長い長いお医者さんの話」、他に「郵便屋さんの話」「山賊の話」など、9つのユーモラスなお話が入っています。



ながいながいペンギンの話

いぬいとみこ 作

大友康夫 画

岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1957年宝文館)
640円

ルルとキキは、南極にすむペンギンの兄弟です。くいしんぼうで元気いっぱいいるルルは、生まれたばかりなのに、ひとりで外へ出てトウゾクカモメに狙われたり、人間の船に連れて行かれたり…。「くしゃみのルルとさむがりやのキキ」「ルルとキキのうみのぼうけん」「さようなら さようなら にんげんさん!」の3つのお話が入っています。

なまけものの王さまとかしい王女のお話

ミラ・ローベ 作
ズージ・ヴァイゲル 絵
佐々木田鶴子 訳
徳間書店 2001年 1300円



ある国に、ナニモセン五世というなまけモノの王さまがいました。食べることで寝ることが大好きで、動くときは、いすのついた輿で運んでもらっていました。そんな王さまが、やがて病気になりますが、誰も治すことができません。活発でかしい王女ピンピは、なんとか病気を治そうとあちこちたずね歩きますが…。

※『ぐうたら王とちょこまか女王』（菊池貞雄画 塩谷太郎訳 学習研究社 1976年）の新訳です。

バレエをおどりたかった馬

H・ストルテンベルグ 作
さとうあや 絵
菱木晃子 訳
福音館書店 1999年 1200円



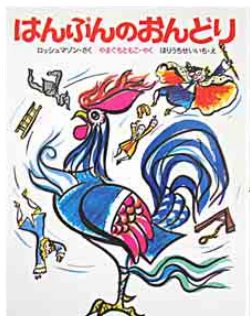
いなかに住んでいた馬は、旅のバレエ団が踊るのを見て、バレエに夢中になってしまいます。馬は友だちと別れて町のバレエ学校に入ります。下宿先のグレーネさんや、口のわるいオウムたちに支えられながら、馬は、バレエダンサーを目指しいっしょうけんめい練習します。

ハンカチの上の花畑

安房直子 作
岩淵慶造 絵
あかね書房 1973年 1300円



郵便屋の良夫さんは、配達先をつくり酒屋のおばあさんから、酒の精の小人がつくったおいしい菊酒をごちそうになりました。良夫さんはおばあさんに、小人をだれにも見せない、菊酒で金もうけをしないと約束して、小人が住む不思議なつぼを預かりましたが…。



はんぶんのおんどり

ジャンヌ・ロッシュ＝マゾン 作
 ほりうちせいいち 絵
 やまぐちともこ 訳
 瑞雲舎 1996年 1262円

欲張りな兄さんは遺産分けとして、雄鶏のジョウをまっぴたつに分けてしまいます。弟のステファヌの看病で半分のジョウは元気になります。ジョウは、ステファヌの死んだお父さんのお金を、けちんぼな王様からとり戻すために、川を靴下止めに、火を帽子飾りに、風をハンカチにしてお城に向かいます。



火のくつと風のサンダル

ウルズラ＝ウェルフェル 作
 久米宏一 絵
 関楠生 訳
 童話館出版 1997年(初版1966年学習研究社)
 1400円



チムは、チビでデブなのがいやで、ほかの男の子になりたいと嘆いています。そんなチムへの7才の誕生日のプレゼントは、赤いくつとリュックサック、そしてお父さんとの徒歩旅行でした。夏休みになり、チムは「火のくつ」、お父さんは「風のサンダル」と名乗り、2人の旅は始まります。

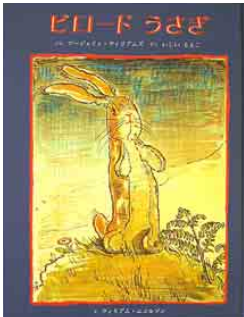


ピノッキオの冒険

コッローディ 作
 エドアルド・バルゲール さし絵
 杉浦明平 訳
 岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1958年)
 720円



ジュペットじいさんは、言葉を話す木を使ってあやつり人形を作り、ピノッキオと名前をつけかわいくなりました。根はやさしいが、いたずら好きでなまけ者のピノッキオは、ものをいうコオロギや仙女様の忠告も聞かず、悪い誘いに次々とのおっしてしまい…。



ピロードウさぎ

マージェリィ・ウィリアムズ 文

ウィリアム・ニコルソン 絵

石井桃子 訳

童話館出版 2002年(初版1953年岩波書店)
1400円

ピロードウさぎは、他の高価なおもちゃと比べ、自分はずまらないものだと思っていました。子ども部屋の木馬は、おもちゃは持ち主に愛されると「ほんとうのもの」になれると教えてくれます。長い間かわいがってくれたぼうやが猩紅熱にかかった後、うさぎは周りの大人によって捨てられてしまいますが…。



ふたりのロツテ

エーリヒ・ケストナー 作

ワルター・トリヤー さし絵

高橋健二 訳

岩波書店 1962年 1560円



ルイーゼが夏休みに子どもの家で会ったのは、自分にそっくりな女の子ロツテでした。自分たちが実は双子の姉妹だと知った2人は、別れた両親を仲直りさせようと、こっそり入れ替わります。スリルに富んだ毎日を過ごしていましたが、ある日、お父さんに新しい婚約者が現れます。



フランダースの犬

ウィーダ 作

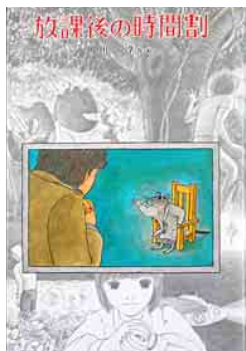
ハルメン・ファン・ストラーテン さし絵

野坂悦子 訳

岩波書店(岩波少年文庫) 2003年(初版1957年)
640円



ネロは、おじいさんと老犬パトラッシュと牛乳運びをして暮らしていました。幼なじみの女の子アロワの父は、貧しいネロと遊ぶことを禁じ、村の人々の態度も冷たくなります。ルーベンスに憧れるネロは、画家になることを夢みて、展覧会に出展しますが…。他に「ニュルンベルグのストーブ」がおさめられています。



放課後の時間割

岡田淳 作・絵

偕成社 1987年（初版1980年） 1000円

ある日、小学校の図工の先生をしているぼうが助けたネズミは、学校に住み、人の言葉を話す学校ネズミでした。学校ネズミは助けてくれたお礼として、放課後に、彼らで作ったお話をしてくれます。女の子のしゃっくりが次々とうつついていき、最後は地球までがしゃっくりをする話など、13のお話が入っています。



ポリーとはらぺこオオカミ

キャサリン・ストー 作

マージョリー＝アン・ワッツ さし絵

掛川恭子 訳

岩波書店 1992年（初版1979年） 1000円

はらぺこのオオカミは、ポリーを食べようといういろいろな方法を考えますが、いつだって賢いポリーにはかないません。豆のつるを登って窓から家に入り、ポリーを捕まえようとする「オオカミと豆の木」、おばさんの家にポリーを行かせて、だまして食べようとする「ポリーずきん」など、7つのお話が入っています。



魔女学校の一年生

ジル・マーフィ 作・絵

松川真弓 訳

評論社 2002年〔初版1987年〕 1200円

カックル魔女学校の一年生、どじで失敗ばかりのミルドレッドの周りでは、いつも騒動が起こります。意地悪な同級生のせいで、ハロウィーンパーティを台無しにしてしまったミルドレッドですが、学校を乗っ取るようとする魔女の陰謀を知り…。「ミルドレッドの魔女学校」シリーズは「魔女学校の転校生」など全4冊です。



魔女ジェニファとわたし
E. L. カニグズバーグ 作・さし絵
松永ふみ子 訳

岩波書店(岩波少年文庫)
2001年(初版1970年) 640円



転校してきたばかりで友だちのいないエリザベスは、ハロウィーンの日、黒人の女の子ジェニファと出会います。ジェニファは自分を魔女だと言い、エリザベスを魔女見習いにしました。多感な時期の女の子2人の友情を描いた物語です。



町かどのジム
エリノア・ファージョン 文
エドワード・アーディゾーニ 絵
松岡享子 訳

童話館出版 2001年(初版1965年学習研究社)
1400円



いつも町角のミカン箱に座っている元船乗りの老人ジムが、なかよしの男の子デリーに、いろいろな話を語って聞かせます。海の中からすくいあげた緑色の子ねこの話、あらゆるものがあり余っている「ありあまじ島」の話など、不思議な冒険を描いた8つのお話が入っています。



魔法使いのチョコレート・ケーキ
—マーガレット・マーヒーお話集—

マーガレット・マーヒー 作
シャーリー・ヒューズ 画
石井桃子 訳
福音館書店 1984年 1600円



魔法の腕は悪いけれど、チョコレート・ケーキを作るのが得意な魔法使いが、子ども達をお茶に招待しますが、子ども達はこわがって誰も来ません。友だちのいない魔法使いは、小さなリンゴの木を相手にお茶を飲み、肥料ケーキを作って大切に育てます。木がさびしくないように他にも木を植えて世話をするうちに時がたつ「魔法使いのチョコレート・ケーキ」など8編のお話と2つの詩が入っています。



マンホールからこんにちは

いとうひろし 作

徳間書店 2002年(初版1990年福武書店)
1400円

おつかいの帰り道、ぼくが角を曲がると、道の真ん中に電信柱が立っていました。ところが、それはマンホールから首だけ出した迷子のきりんでした。それから、ぼくが角を曲がるたび、マンホールの向こうから、マンモスや河童など、不思議な迷子たちが次々と顔を出し…。



ミオよ わたしのミオ

リンドグレーン 作

イロン・ヴィークランド さし絵

大塚勇三 訳

岩波書店 1967年 2200円



養父母のもとで、つらい日々を送っていた少年ポッセは、ある日魔神に連れられ、「はるかな国」へとたどり着きます。そこで本当の父に会い、自分が王子ミオであることを知りました。やがてミオは、王国の子ども達を連れ去り、鳥に変えてしまった残酷な騎士カトーと戦うため、白馬ミラミス、親友ユムユムとともに、「外の国」へと旅立ちます。



ミス・ヒッコリーと森のなかまたち

キャロライン・シャーウィン・ベイリー 作

ルース・クリスマン・ガネット 画

坪井郁美 訳

福音館書店(福音館文庫)

2005年(初版1975年) 650円



ミス・ヒッコリーは、リンゴの小枝とヒッコリーの実でできたお人形です。ある日、持ち主の女の子に置き去りにされ、住み慣れた家を失ってしまい、仕方なく果樹園の木にかかっているコマドリの巣で冬を越すことになりました。さまざまな動物たちや豊かな森の恵みにふれ、頑固で強情なミス・ヒッコリーの暮らしは少しずつ変化していきます。

みつばちじいさんの旅

フランク・ストックトン 作

モーリス・センダック 絵

光吉夏弥 訳

童話館出版 1998年(1969年学習研究社)

1400円



ある日、みつばちと暮らすみつばちじいさんのもとに、若い魔法使いがやってきました。自分が何の生まれ変わりか知っているかとたずねられたじいさんは、自分の本当の姿をさがす旅に出ます。みつばちの巣を背負って、殿様の御殿や、竜や悪魔の住むほら穴を訪れますが…。

メロップスのわくわく大冒険 1

トミー・ウンゲラー 文・絵

麻生九美 訳



評論社 1986年 1200円

ぶたのメロップス一家のゆかいな冒険を描いた3つのお話が入っています。好奇心旺盛なお父さんと、お料理上手なお母さん、そして4匹の息子たちは、石油を掘り出したり、海や地底に探検に出かけたり…。ときには失敗することもあります。彼らはいつも陽気なでげません。シリーズは全2巻です。

木馬のぼうけん旅行

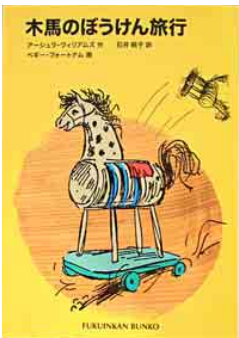
アーシュラ・ウィリアムズ 作

ベギー・フォートナム 画

石井桃子 訳

福音館書店(福音館文庫) 2003年(初版1964年)

700円



おもちゃ作りのピーダーおじさんの作った木馬は、商売不振で病気になってしまったおじさんを助けるため、お金を稼ぐ旅に出ました。重い荷物を引いたり、サーカスで綱渡りをしたり、一生懸命働きますが、お金を貯めては、そのたびに失ってしまいます。そのうえ、木馬自身の身を危うくするような事件が次々と起こり…。



モグラ原っぱのなかまたち

古田足日 作
田畑精一 絵

あかね書房 1968年 1300円

2年生のなおゆき、かずお、あきら、ひろ子の4人組は、草がいっぱい生えていて、虫のいる原っぱを見つけました。スギでつぼうをしたり、ドーナツ池でいかに乗ったりできるすてきな原っぱです。ところがある日、ダンプカーがやってきて…。



やかまし村の子どもたち

リンドグレーン 作
イロン・ヴィークランド さし絵
大塚勇三 訳
岩波書店 1965年 1900円



スウェーデンの田舎にあるやかまし村には、家が3軒しかなく、子どもも6人しかいません。野いちごつみをしたり、干し草置き場で眠ったり…。大自然に抱かれた農村での楽しい暮らしを、7歳のリーサがいきいきと語ります。シリーズには「やかまし村の春・夏・秋・冬」「やかまし村はいつもにぎやか」があります。



やまんば山のモッコたち

富安陽子 作
降矢奈々 画

福音館書店 2000年(初版1986年) 1500円



ある冬の日、啓太はやまんばの娘まゆと友だちになりました。強く楽しい背高のつばのお母さんやまんばが作る揚げコロ餅や、やまんば汁などおいしい料理を食べたり、ガタロ沼で河童と相撲をとったり、2人はゆかいに一年を過ごします。雪女や天狗などやまんば山に住むモッコたちとの8つのお話が入っています。

ゆかいなホームーくん

ロバート・マックロスキー 作
石井桃子 訳



ゆかいなホームーくん

ロバート・マックロスキー 作・さし絵
石井桃子 訳

岩波書店(岩波少年文庫)
2000年(初版1951年) 640円



アメリカの小さな町に住むホームーくんは機械いじりの好きな少年です。ペットのスカンクと4人組の強盗をつかまえたり、店番を頼まれたおじさんの店の自動ドーナツ製造機がどうしても止まらず、店中がドーナツだらけになってしまったり、ゆかいな事件が次々に起こります。

雪わたり

宮沢賢治 著



雪わたり

宮沢賢治 著
堀内誠一 画

福音館書店 1969年 1300円

「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」雪がすっかり凍った日、四郎とかん子が雪ぐつをはいてキックキックと野原に出ると、小さなきつねが森から出てきて、きつね小学校の幻燈会に招待してくれました。

リボンと きつねと ゴムまりと 月

村山知義

村山知義
作品集

カズコ

リボンときつねとゴムまりと月-村山籌子作品集1-
村山籌子 作
村山知義 絵

JULA出版局 1997年 1500円



ゴムまりと月が、リボンをいじめているきつねをこらしめる「リボンときつねとゴムまりと月」など、動物や野菜、身近な道具を主人公として描いた童話11編、童謡4編、絵ばなし2編がおさめられています。シリーズには、第2集「あめがふってくりゃ」、第3集「川へおちたたまねぎさん」があります。



ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤洋 作
杉浦範茂 絵

講談社 1987年 1300円



飼い猫のルドルフは、魚屋から逃げるためトラックに飛び乗り、知らない町まで来てしまいます。そこで出会った大きなトラ猫イッパイアッテナは、ケンカが強く教養のある猫で、ルドルフに餌のもらい方や、人間の文字の読み書きなど、いろいろなことを教えてくれます。シリーズには「ルドルフともだちひとりだち」「ルドルフといくねこくるねこ」があります。

